

かんたんガイドブック



かんたん携帯9



電話／電話帳



メール



写真(カメラ)



便利機能



安心機能

**このたびは、かんたん携帯9をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。**

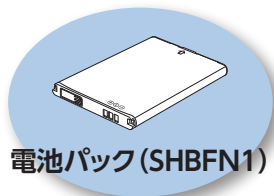
かんたん携帯9をご利用の前に、本書をご覧になり、
正しくお取り扱いください。
本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。

かんたん携帯9は、4G LTE／4G／3G方式とGSM方式に対応しております。

- 本書は、特にことわりのない限り、お買い上げ時の状態で、待受画面からの操作方法を説明しています。設定が変更されていたり、他の機能が動作しているときなどは、動作が異なったり、動作しないことがあります。
- 本書内の画面は実際の画面表示とは異なることがあります。操作の目安としてご利用ください。



かんたん携帯9本体



電池パック (SHBFN1)



卓上ホルダー (SHEFN1)

かんたんガイドブック：本書

保証書(本体)

はじめに、付属品を確認しましょう。




取扱説明書
について

このケータイの使いかたや機能を詳しく知りたいときは、下記のサイトに接続して、取扱説明書をご覧ください。

オンラインマニュアル(HTML)

<http://help.mb.softbank.jp/r/>

ケータイのバーコードリーダーで、右記QRコードを読み取っても接続できます。

 →  (4回押す) → 「バーコード読み取り」 → 

ユーザーガイド(PDF)

<http://www.softbank.jp/mobile/support/product/kantan-keitai-9/>



ガイドブックの見かた

かんたん

ケータイの特長を知りたいとき

すぐにケータイを使いたいとき

機能の使いかたを知りたいとき

ケータイの詳しい情報を調べたいとき

1章

準備／基本操作

2～6章

各機能別操作

7章

付録

※詳しい目次は、各章の最初のページに記載しています。

ボタンのはたらきを中心に、このケータイの特長を説明しています

[このまま次のページへ](#)

電源の入れかたをはじめ、メニュー操作や文字入力などの基本操作を説明しています

[16 ページへ](#)

[電話／電話帳 62 ページへ](#)

[メール 90 ページへ](#)

4つの便利なボタンを中心に、各機能の基本操作を説明しています

[写真\(カメラ\) 116 ページへ](#)

※操作ページの見かたは、60ページをご覧ください。

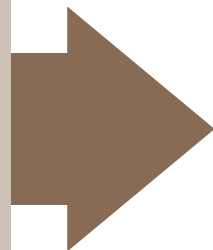
[便利機能 134 ページへ](#)

[安心機能 158 ページへ](#)

充電のしかたや索引、各種一覧表など、使いこなすための情報を記載しています

[178 ページへ](#)

操作用暗証番号を登録しましょう	179
USIMカードロックを利用しましょう	183
ソフトウェアを更新しましょう	189
電池パックを充電しましょう	193
メニュー一覧	200
文字入力用ボタン一覧	203
おもな仕様	206
使用材料	208
故障かな？と思ったら	210
防水／防塵性能について	214
本機のお手入れについて	217
安全上のご注意	219
お願いとご注意	230
知的財産権について	236
本製品の比吸収率(SAR)について	241
General Notes	247
索引	249
保証とアフターサービス	255
お問い合わせ先一覧	256



操作用暗証番号を登録しましょう

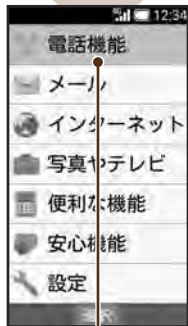
おもな使用ボタン



利用する機能によっては、操作用暗証番号が必要になることがあります。必要なときにすぐ操作できるよう、登録しておきましょう。

スタート

OK



「電話機能」が
選択されています

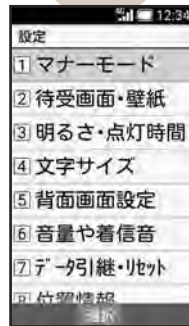
6回押す

写真



「設定」を選択します

OK

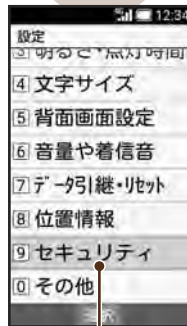


次ページに続きます

付録

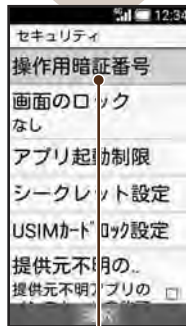
2回押す

便利



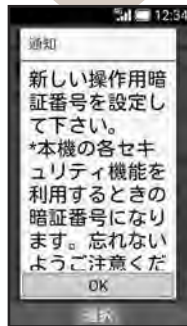
「セキュリティ」を
選択します

OK



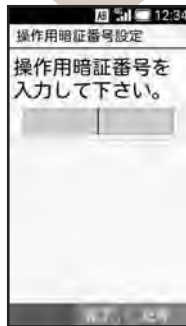
「操作作用暗証番号」が
選択されています

OK



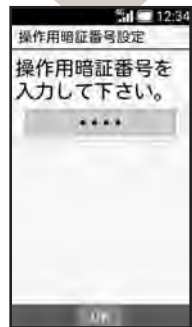
操作作用暗証番号につ
いてのメッセージが
表示されます

OK



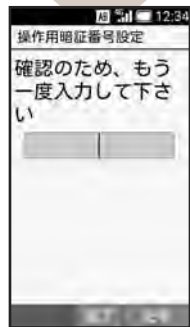
暗証番号を入力する
画面が表示されます

操作暗証番号を
入力する

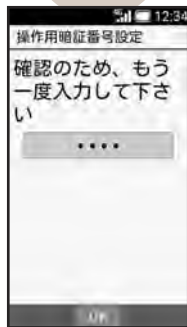


4桁の数字を入力
します

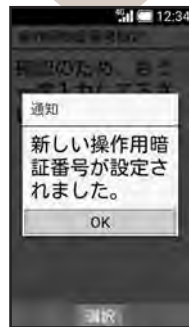
OK



もう一度操作暗証番号を入力する



OK

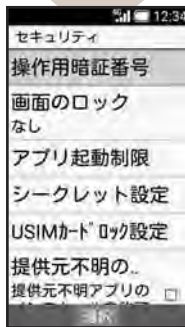


次ページに続きます

付録

ゴール

OK



アドバイス

暗証番号の種類を知っておきましょう

操作暗証番号のほかにも、次の暗証番号があります。

●交換機用暗証番号

ご契約時の4ケタの番号です。契約内容の変更、オプションサービスを一般電話から操作するときなどに使います。

暗証番号の取り扱いには十分注意しましょう

他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要となります。詳しくは、お問い合わせ先(☎ 256ページ)までご連絡ください。

USIMカードロックを利用しましょう

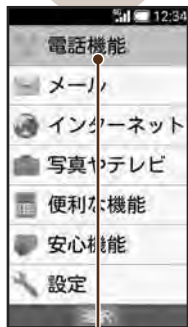
おもな使用ボタン



電源を入れたとき、PINコードを入力しないと本機を使用できないように (USIMカードロックを設定) することができます。

スタート

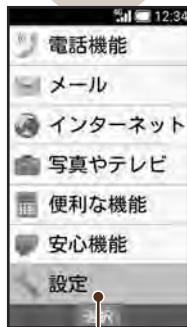
OK



「電話機能」が
選択されています

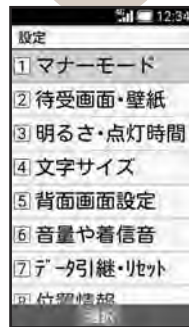
6回押す

写真



「設定」を選択します

OK



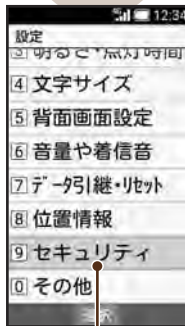
次ページに続きます

付録

※PINコードとは、USIMカードの暗証番号です。第三者による本機の無断使用を防ぐために使います。(USIMカードお買い上げ時は「9999」に設定されています。)

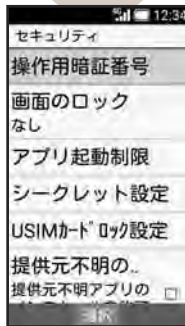
2回押す

便利



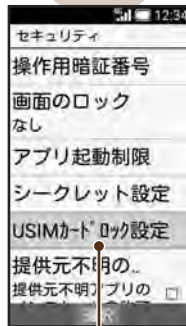
「セキュリティ」を
選択します

OK



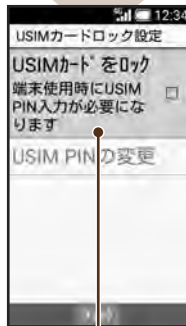
4回押す

写真

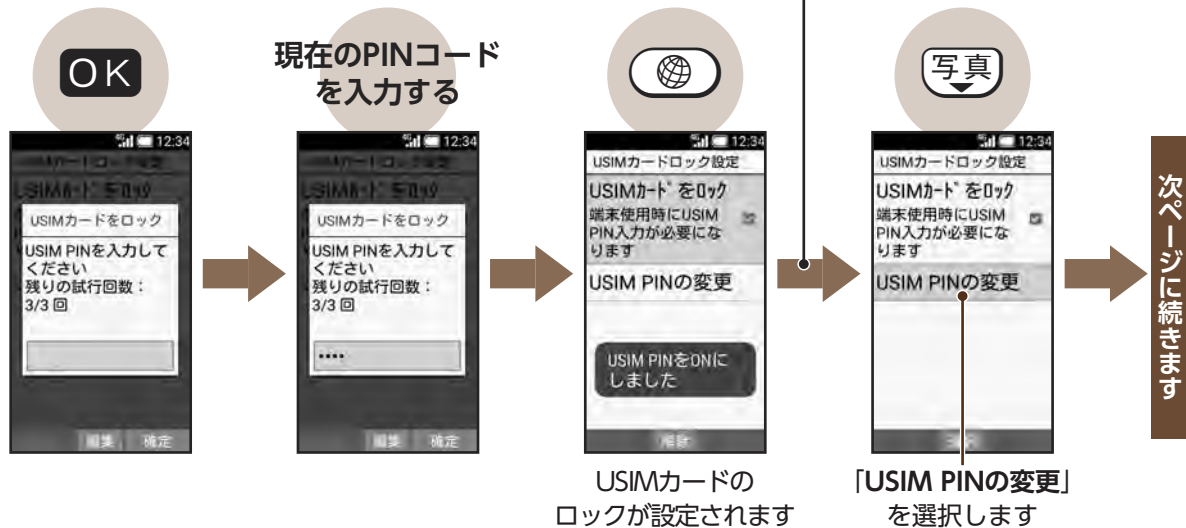


「USIMカードロック
設定」を選択します

OK



「USIMカードをロッ
ク」が選択されて
います



OK

現在のPINコード
を入力する

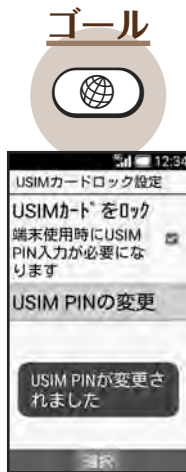


新しいPINコード
を入力する





再度、新しいPIN
コードを入力する



PINコードが
変更されました

次ページに続きます

アドバイス

USIMカードのロックを解除する

OK → (写真) (6回押す) → 「設定」 → OK → (便利) (2回押す) → 「セキュリティ」 → OK → (写真) (4回押す) → 「USIMカードロック設定」 → OK → 「USIMカードをロック」 → OK → 現在のPINコードを入力 → (地球儀)

- 「USIMカードをロック」の項目のチェックマークがOFF (□表示) になれば、設定が解除されています。

PINコードの入力間違いについて

PINコードの入力を3回間違えると、PINロックが設定され、本機の使用が制限されます。

PINロックを解除するとき

お問い合わせ先 (☎ 256ページ) で、「PINロック解除コード (PUKコード)」をご確認ください。

- PUKコードの入力を10回間違えると、USIMカードがロックされ、本機が使用できなくなります。このときは、「ソフトバンクショップ」にてUSIMカードの再発行 (有償) が必要になりますので、ご注意ください。

ソフトウェアを更新しましょう

おもな使用ボタン



ネットワークを利用して本機のソフトウェア更新が必要かどうかを確認し、必要なときには更新ができます。

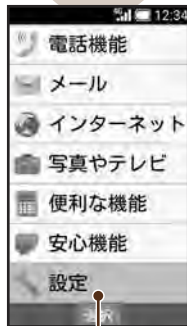
スタート

OK



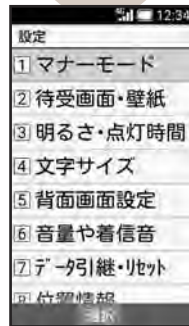
6回押す

写真



「設定」を選択します

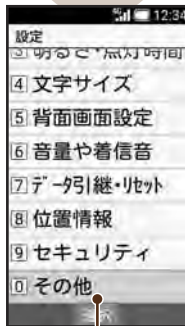
OK



次ページに続きます

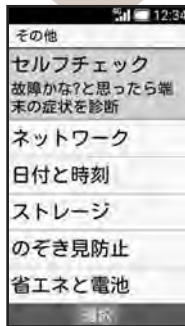
付録

便利



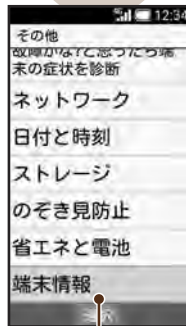
「その他」を選択
します

OK



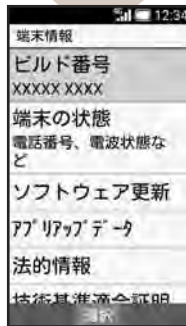
6回押す

写真



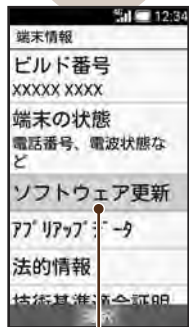
「端末情報」を
選択します

OK



2回押す

写真



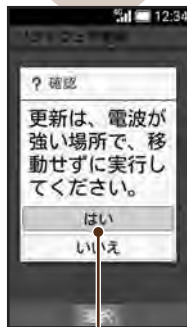
「ソフトウェア更新」
を選択します

OK



「ソフトウェア更新」
が選択されています

OK



「はい」が選択されて
います

OK



以降は、画面に従って操作します

付録

次ページに続きます

アドバイス

ソフトウェア更新について

- ほかの機能を利用しているときは、ソフトウェア更新は行われません。
- 更新が完了するまで、本機を使用できません。ソフトウェア更新には時間がかかることがあります。
- 手動でソフトウェアを更新することもできます。

ソフトウェア更新が完了すると

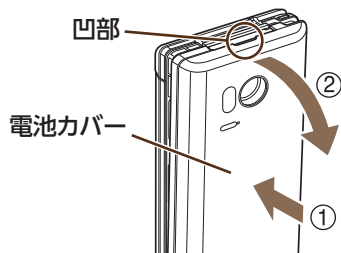
ソフトウェア書き換え完了の画面が表示されたあと、自動的に再起動します。

ソフトウェア更新について詳しくは、取扱説明書 (📖 1ページ) をご覧ください。

電池パックを充電しましょう

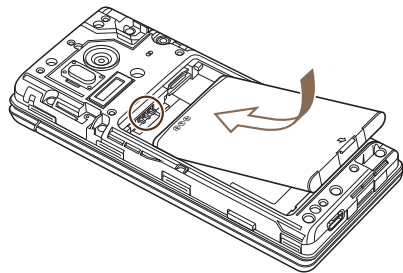
電池パックを取り付ける

① 電池カバーを取り外す



- 電池カバーの中央部を押さえながら ①、凹部に指先をかけて、矢印の方向 ② にひいて取り外します。
- 取り外しにくいときは、凹部のすきまから本体の外周に沿って、指で少しずつ電池カバーを浮かせるようにして取り外します。

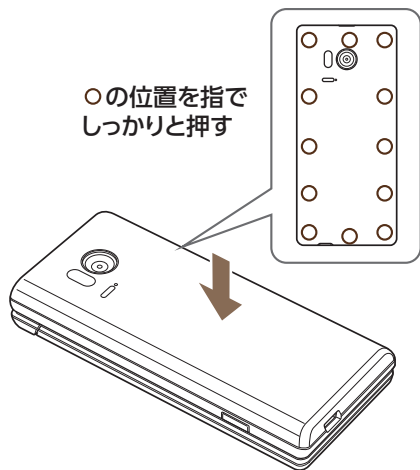
② 電池パックを取り付ける



- 電池パックの先を合わせて、矢印の方向に取り付けます。

次ページに続きます

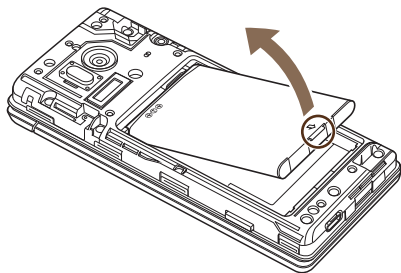
3 電池カバーを取り付ける



- 電池カバーを本体に合わせて置き、○の位置をしっかりと押して、本体との間にすき間がないことを確認してください。
- 電池カバーが完全に取り付けられているかを確認してください。パッキンとの接触面に細かいゴミなどが挟まると、水や粉塵が入る原因となります。

電池パックを取り外す

本機の電源を切った状態で、図のように電池パックを持ち上げます。



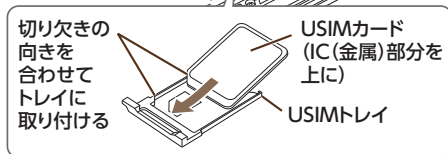
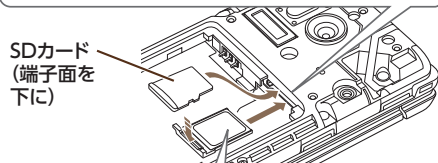
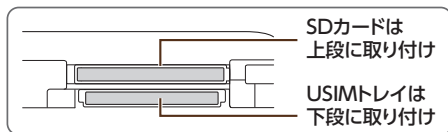
電池パックについてのご注意

- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置しないでください。お客様が登録・設定した内容が消失または変化したり、電池パックが使用できなくなったりすることがあります。長期間保管・放置するときは、半年に1回程度補充電を行ってください。
- 電池パックは消耗品です。十分に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。

USIMカード／SDカードの取り付け位置について

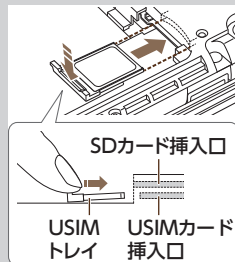
USIMカードとSDカードの取り付け位置は、上下2段構造です。

正しい取り付け位置を図でご確認のうえ、お間違えにならないようご注意ください。



USIMカードについて

- USIMカードは、あらかじめUSIMトレイに取り付ける必要があります。
- USIMトレイを取り外す際は、USIMトレイを強く引き出ししたり、斜めに引き出ししたりすると、破損の原因となります。USIMトレイに指をかけて、ゆっくりと水平に引き抜いてください。
- USIMトレイを無理に差し込むと破損の原因となります。取り付けの際はUSIMカード挿入口の位置をよく確認し、USIMトレイの端を軽く押さえ、USIMトレイの先端を軽く浮かせて、奥までまっすぐに、ゆっくりと差し込んでください。



SDカードについて

- SDカードを取り外す際は、SDカードを軽く押し込んだあと、指を離します。SDカードが少し飛び出てきますので、ゆっくりと水平に引き抜いてください。

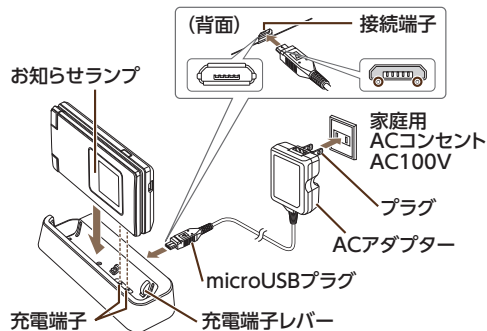
次ページに続きます

電池パックを充電する

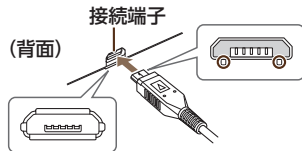
電池パックを本機に取り付け、付属の卓上ホルダーとACアダプタを使用して充電します。

ここでは、ACアダプタ [SB-AC13-HDMU] を使用して充電する方法を例に説明します。ACアダプタはオプション品です。ソフトバンク指定のACアダプタをお使いください。ACアダプタ、およびその他の周辺機器についてはソフトバンクのホームページを参照してください。

- ACアダプタおよび卓上ホルダーは、防水/防塵対応していません。本機が濡れているときは、充電しないでください。濡れた手で卓上ホルダー・充電器に触れると、感電の原因となります。

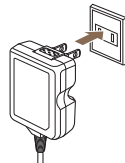


1 ACアダプタのmicroUSBプラグを、卓上ホルダーの接続端子に差し込む



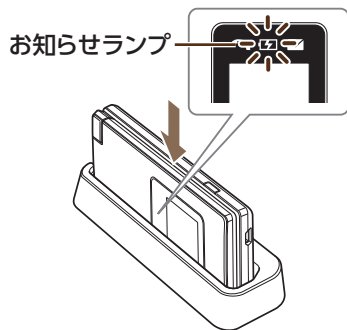
- 卓上ホルダーの接続端子は背面にあります。
- microUSBプラグを誤った向きに差し込むと、接続端子が破損することがあります。microUSBプラグの形状と向きをよく確かめて、突起(○部分)を下にして差し込んでください。


2 ACアダプタのプラグを家庭用ACコンセントに差し込む



- 家庭用ACコンセントに差し込む前に、プラグを起こしてください。(ご使用後は、プラグを倒して保管してください。)

3 本機に電池パックを取り付け、卓上ホルダーに置く




- 本機を矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し下げます。
- 充電が始まり、本機のお知らせランプ「

4 充電が完了したら、卓上ホルダーから本機を取り外し、必ずACアダプタを持って、プラグを家庭用ACコンセントから抜く

卓上ホルダー利用時のご注意

- 踏みつけたり、重い物を載せたりしないでください。
- 卓上ホルダーに取り付けると、本機を開くことはできません。無理に開かないでください。

充電中のご注意

- 充電中は、本機やACアダプタが温かくなることがあります。
- お知らせランプ「

お知らせランプ「 - 電池パックの異常か寿命のため、充電できていません。新しい電池パックと交換してください。

海外での充電について

- 海外での充電に起因するトラブルについては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

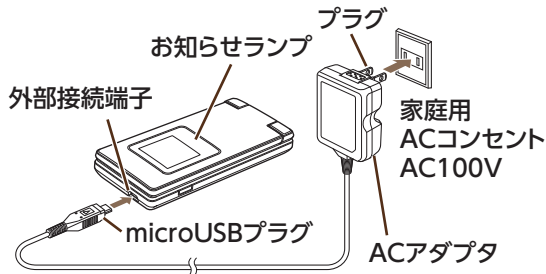
■ ACアダプタで充電する

ここでは、ACアダプタ [SB-AC13-HDMU] を使用して充電する方法を例に説明します。

ACアダプタはオプション品です。ソフトバンク指定のACアダプタをお使いください。

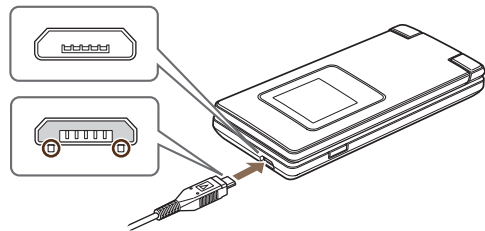
ACアダプタ、およびその他の周辺機器についてはソフトバンクのホームページを参照してください。

- ACアダプタは、防水／防塵対応していません。本機が濡れているときは、充電しないでください。
- 充電中は、本機やACアダプタが温かくなることがあります。

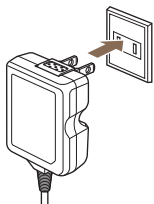




1 ACアダプタのmicroUSBプラグを、本機の外部接続端子に差し込む

- microUSBプラグを誤った向きに差し込むと、本機の外部接続端子が破損することがあります。microUSBプラグの形状と向きをよく確かめて、突起(○部分)を下にして差し込んでください。

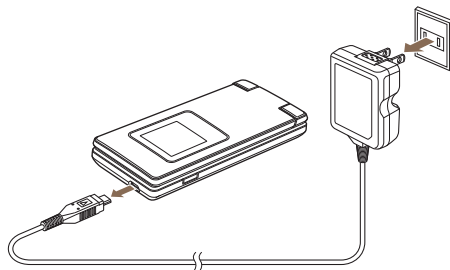


② ACアダプタのプラグを起し、家庭用ACコンセントに差し込む




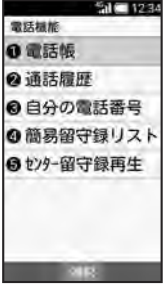
- 充電が始まり、お知らせランプ「」が点灯します。
- お知らせランプ「」が消灯すれば、充電は完了です。

③ 本機の外部接続端子から、ACアダプタのmicroUSBプラグを取り外し、ACアダプタのプラグを家庭用ACコンセントから抜き、プラグを元の状態に戻す



メニュー一覧

楽ボタンメニュー

ボタン	画面表示	機能名		
便利	 <p>便利な機能</p> <ol style="list-style-type: none"> LINE 電卓 歩数計 カレンダー 目覚まし時計 メモ帳 赤外線で送受信 通知パネルを開く 	LINE		
		電卓		
		歩数計		
		カレンダー		
		目覚まし時計		
		メモ帳		
		赤外線で送受信		
		通知パネルを開く		
		電話	 <p>電話機能</p> <ol style="list-style-type: none"> 電話帳 通話履歴 自分の電話番号 簡易留守録リスト センター留守録再生 	電話帳
				通話履歴
自分の電話番号				
簡易留守録リスト				
センター留守録再生				

ボタン	画面表示	機能名
メール	 <p>メール</p> <ol style="list-style-type: none"> 受信ボックス 文章を送る 写真を送る SMSを送る 送信ボックス 	受信ボックス
		文章を送る
		写真を送る
		SMSを送る
		送信ボックス
写真	 <p>写真やテレビ</p> <ol style="list-style-type: none"> カメラ ビデオカメラ 写真などを確認 テレビ バーコード読み取り 	カメラ
		ビデオカメラ
		写真などを確認
		テレビ
		バーコード読み取り

メインメニュー

待受画面で**OK**を押して呼び出せるメニューです。

機能名	
電話機能	電話帳
	通話履歴
	自分の電話番号
	簡易留守録リスト
	センター留守録再生
	迷惑電話ブロック
	短縮ダイヤル
	音量や着信音設定
	通話設定
メール	受信ボックス
	メールを作成
	送信ボックス
	未送信ボックス
	音量や着信音設定
	設定

機能名

インターネット	ホームページ
	マイソフトバンク
	ブックマーク
	検索/URL入力
	閲覧履歴
	設定
	ダウンロード履歴
	使ってみよう ~タッチクルーザーEXのススメ~
写真やテレビ	カメラ
	ビデオカメラ
	写真などを確認
	テレビ
	バーコード読み取り

次ページに続きます

機能名	
便利な機能	LINE
	電卓
	歩数計
	カレンダー
	目覚まし時計
	メモ帳
	赤外線で送受信
	タイマー
	ストップウォッチ
	世界時計
	辞書
	ウィジェットシート
	タッチクルーザーEX操作ガイド
	メーカーサービス (SHSHOW)

機能名	
安心機能	インターネットの保護
	あんしんバックアップ
	緊急ブザー
	緊急速報メール
	災害用伝言板
	災害用音声お届けサービス
	読んだよメール
元気だよメール	
設定	マナーモード
	待受画面・壁紙
	明るさ・点灯時間
	文字サイズ
	背面画面設定
	音量や着信音
	データ引継・リセット
	位置情報
	セキュリティ
	その他

文字入力用ボタン一覧

漢字(ひらがな)入力

■ ボタンの文字割り当て

		押す回数									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
押す ボタ ン	1あ <small>あ</small>	あ	い	う	え	お	あ	い	う	え	お
	2か <small>か</small>	か	き	く	け	こ					
	3さ <small>さ</small>	さ	し	す	せ	そ					
	4た <small>た</small>	た	ち	つ	て	と	っ				
	5な <small>な</small>	な	に	ぬ	ね	の					
	6は <small>は</small>	は	ひ	ふ	へ	ほ					
	7ま <small>ま</small>	ま	み	む	め	も					
	8や <small>や</small>	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	ょ				
	9ら <small>ら</small>	ら	り	る	れ	ろ					
	0わ <small>わ</small>	わ	を	ん	わ	ー	～	空白			
	# <small>マナー</small>	、	。	？	！	・	空白				

■ ボタンのはたらき

押すボタン	ボタンのはたらき
	変換、カーソル移動、 文末で押すと改行
	ワイルドカード入力、カーソル 移動、文末で押すと空白を入力
	カーソル移動
	カタカナ／英数字に変換
	絵文字／記号／顔文字一覧の 表示、変換方法の切替
	1文字消す、変換の中止
	文字を逆順に表示、 で消した文字の復元
	入力中の文字に濁点／半濁点を 付ける、大文字／小文字の切替、 文字未選択時に押すと改行

次ページに続きます

カタカナ入力(全角/半角)

■ ボタンの文字割り当て

		押す回数														
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10					
押す ボタ ン	①あ <small>abc</small>	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ					
	②か <small>ABC</small>	カ	キ	ク	ケ	コ										
	③さ <small>DEF</small>	サ	シ	ス	セ	ソ										
	④た <small>GHI</small>	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ									
	⑤な <small>JKL</small>	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ										
	⑥は <small>MNO</small>	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ										
	⑦ま <small>PQRS</small>	マ	ミ	ム	メ	モ										
	⑧や <small>TUV</small>	ヤ	ユ	ヨ	ヤ	ユ	ヨ									
	⑨ら <small>WXYZ</small>	ラ	リ	ル	レ	ロ										
	⑩わを <small>半角</small>	ワ	ヲ	ン	ワ	ー	～	空白								
㊦マ <small>マ</small>	、	。	？	！	・	空白										

●⑩わをボタンで半角入力時は「ワ」「ヲ」「ン」「ー」のみ入力できます。

■ ボタンのはたらき

押すボタン	ボタンのはたらき
	カーソル移動、 文末で押すと改行
	カーソル移動、 文末で押すと空白を入力
	カーソル移動
	文字種の変更
	絵文字/記号/ 顔文字一覧の表示
	1文字消す
	文字を逆順に表示、 で消した文字の復元
	入力中の文字に濁点/半濁点を 付ける、大文字/小文字の切替、 文字未選択時に押すと改行

英数字入力(全角／半角)









■ ボタンの文字割り当て

		押す回数										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
押す ボタ ン	1あ あ	.	@	/	_	-	:	~	1			
	2か ABC	a	b	c	A	B	C	2				
	3き DEF	d	e	f	D	E	F	3				
	4た GHI	g	h	i	G	H	I	4				
	5な JKL	j	k	l	J	K	L	5				
	6は MNO	m	n	o	M	N	O	6				
	7ま PQRS	p	q	r	s	P	Q	R	S	7		
	8や TUV	t	u	v	T	U	V	8				
	9ら WXYZ	w	x	y	z	W	X	Y	Z	9		
	0わ +ん	0	-	空白								
	#ナ ハコ	.	,	?	!	'	-	&	()	¥	

●**0**ボタンで半角入力時は、「0」「-」「空白」「!」「”」「#」「\$」「%」「&」「'」「(」)」「*」「+」「,」「.」「/」「:」「;」「<」「=」「>」「?」「@」「[」「\」「]」「^」「_」「`」「{|}」「~」が入力できます。

●**#**ボタンで半角入力時は、「¥」は「\」と入力されます。また、押す回数が11回目は空白が入力されます。

■ ボタンのはたらき

押すボタン	ボタンのはたらき
	カーソル移動、 文末で押すと改行
	カーソル移動、 文末で押すと空白を入力
	カーソル移動
	文字種の変更
	絵文字／記号／顔文字一覧の表示
	1文字消す
	文字を逆順に表示、 戻る で消した文字の復元
	大文字／小文字の切替、 文字未選択時に押すと改行

おもな仕様

仕様変更などにより、内容が一部異なることがあります。

かんたん携帯9本体

質量	本体：約◆◆g 電池パック装着時：約◆◆g
連続通話時間※1	約◆◆分(3Gモード) 約◆◆分(GSMモード) 約◆◆分(VoLTE※2モード)
連続待受時間※3	約◆◆時間(3Gモード) 約◆◆時間(GSMモード) 約◆◆時間(4Gモード：AXGP網) 約◆◆時間(4Gモード：FDD-LTE網) (クローズポジション時)
テレビ連続視聴時間※4	約◆◆時間◆◆分
充電時間(本機の電源を切って充電した場合)	ACアダプタ [SB-AC13-HDMU]：約◆◆分
サイズ (幅×高さ×奥行き)	約◆◆×◆◆×◆◆mm (クローズポジション時、突起部 除く)
最大出力	3G：0.25W GSM(900MHz)：2W GSM(1800MHz,1900MHz)：1W 4G：0.2W

※1 連続通話時間とは、電池の充電を満たし、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。

※2 Voice over LTEの略。LTEのネットワークで音声通話を可能にする技術。

※3 連続待受時間とは、電池の充電を満たし、通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。データ通信/緊急速報メールを無効に設定したときの数値です。また使用環境(充電状況、気温など)や機能の設定状況などにより、ご利用時間が変動することがあります。

※4 テレビ連続視聴時間とは、電池の充電を満たし、横画面フルスクリーン表示、画面の明るさのレベルを「◆明るさ：3」に設定、別売のマイク付ステレオイヤホンを使用し、◆音量最大、電池残量約10%を残した計算値です。

電波状況、再生コンテンツにより、ご利用時間が変動することがあります。

●お使いの場所や状況、設定内容によって、上記の時間は変動します。

●液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られています。画素欠けや常時点灯する画素がありますので、あらかじめご了承ください。

付属品

■ 電池パック (SHBFN1)

電圧	3.8V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	1410mAh
外形サイズ (幅×高さ×奥行)	約38×58.9×5.1mm (突起部 除く)

■ 卓上ホルダー (SHEFN1)

入力電圧／入力電流	DC5.0V／1.8A
出力電圧／出力電流	DC5.0V／1.8A
充電温度範囲	5℃～35℃
サイズ (幅×高さ×奥行)	約129.7×24.8×41.4mm

使用材料

かんたん携帯9本体

使用箇所	使用材料／表面処理
キャビネット（ディスプレイ側）	ガラス入りPA樹脂+SUS／UV塗装
キャビネット（ディスプレイ背面側）	アクリル／不連続蒸着、印刷、UVハードコート、裏面印刷
キャビネット（操作ボタン側）	ガラス入りPA樹脂／UV塗装
キャビネット（電池パック側）	ABS樹脂+PC樹脂+GF／金メッキ
ヒンジカバー	ABS樹脂+PC樹脂／UV塗装
ヒンジパネル	アクリル／不連続蒸着、印刷、UVハードコート、裏面印刷
電池カバー	ABS樹脂+PC樹脂／UV塗装
電池カバーパッキン	PC樹脂+シリコンゴム
電池カバークッション	ウレタン樹脂
ディスプレイ窓	アクリル+PC樹脂／裏面印刷
背面画面パネル	◆◆
カメラ（レンズカバー）	アクリル／表面防汚処理、ハードコート、ARコート、裏面印刷

使用箇所	使用材料／表面処理
楽ともボタン、辞書ボタン、ブラウザボタン、OKボタン、楽ボタン（便利ボタン、電話ボタン、写真ボタン、メールボタン）、開始ボタン、戻るボタン、電源／終了ボタン、ダイヤルボタン、★ボタン、#ボタン、ブザーボタン、拡大ボタン	◆◆
飾りシート（操作ボタン面）	PET／裏面印刷
サイドボタン	PC樹脂／UV塗装
キャビ当たり	シリコンゴム
外部接続端子（端子接点部）	SUS／金メッキ
外部接続端子（端子樹脂部）	ABS樹脂
赤外線ポート（IR窓）	アクリル
スピーカーメッシュ	ポリエステル
充電端子（卓上ホルダー用）	SUS／金メッキ
充電端子（電池パック接続部）	銅合金／AUメッキ
USIMトレイ	POM樹脂
ネジ（すべて）	ステンレス／焼入れ

付属品

■ 電池パック (SHBFN1)




使用材料／表面処理	外装：PC樹脂+PET 接続部：銅合金／金メッキ
-----------	-----------------------------

■ 卓上ホルダー (SHEFN1)

使用材料／表面処理	ABS／シボ加工
-----------	----------

故障かな？と思ったら

■ 全般


症状	確認すること	処置
電源が入らない	「SoftBank」と表示されるまで、  を押していますか。	「SoftBank」と表示されるまで、  を押してください。
	電池切れになっていませんか。	電池パックを充電するか、充電されている予備の電池パックと交換してください。
	電池パックは取り付けられていますか。	正しく取り付けてください。
電源が切れる／電源が入らない	本機の温度が高い状態で使用し続けて、電源が切れませんでしたか。	内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示されたあと、約3分後に電源が切れます。この場合には、本機の内部温度を下げるため、すべての機能を終了してから、画面を消灯してください。本機の温度が下がったあと、電源を入れてください。
フリーズする／動作が不安定	本機が動作を停止したり入力を受け付けなくなったりしていますか。	強制的に電源を切ることができます。  を8秒以上長押しして、振動したあとに指を離すと、電源が切れます。
USIMカードが認識されない	USIMカードは正しく取り付けられていますか。	電源を切り、USIMカードが正しく取り付けられているか確認したあと、電源を入れ直してください。それでも症状が改善されないときは、USIMカードが破損している可能性があります。
	違ったUSIMカードを取り付けていませんか。	使用できないUSIMカードが取り付けられている可能性があります。正しいUSIMカードであることを確認してください。
	USIMカードのIC部分に指紋などの汚れが付いていませんか。	乾いたきれいな布で汚れを落として、正しく取り付けてください。

症状	確認すること	処置
電話やメール、インターネットが利用できない	電波の弱い場所や圏外の場所にいませんか。	電波状態表示を確認しながら、電波の届く場所に移動してください。
	本機が動作を停止したり入力を受け付けなくなったりしていますか。	電源を入れ直してください。
電話がかかけられない／繋がらない	相手の電話番号を全桁ダイヤルしていますか。	市外局番など、「0」で始まる相手の電話番号を全桁ダイヤルしてください。
	電波が届く場所にいますか。	電波状態表示を確認しながら、電波の届く場所に移動してかけ直してください。
電話の相手の声が聞こえない	通話音量が小さくなっていませんか。	通話中に(便利)を押すと、通話音量を大きくすることができます。
緊急ブザーが鳴らない	(ブザー)を長押し（3秒以上）していますか。	緊急ブザーを鳴らすときは、(ブザー)を長押し（3秒以上）してください。
本機やACアダプタが熱くなる	充電中ではありませんか。	手で触れることのできる温度であれば、異常ではありません。ただし、長時間肌に触れたままにしていると、低温やけどになる恐れがありますので、ご注意ください。
	本機を長時間利用していませんか。	
日時の設定内容が保持されない	電池パックを外していませんか。	設定した日時は、電池パックを交換するときも保持されますが、約1時間程度電池パックを外しているか空の状態では放置していると、設定がリセットされることがあります。このときは再度設定してください。

次ページに続きます

症状	確認すること	処置
(#77)を押してもマナーモードが設定できない	待受画面で(#+)を押していますか。	待受画面以外で操作しても設定できません。待受画面で(#+)を押してください。

■ 充電／電池

症状	確認すること	処置
充電時間が短い	電池残量がある状態で充電していませんか。	電池残量がある状態で充電すると、充電時間が短くなることがあります。
	お知らせランプ「  」が赤色で点滅していませんか。	電池パックが寿命または異常です。新しい電池パックと交換してください。
	強い衝撃を与えるなどして、本機が卓上ホルダーから外れていませんか。	もう一度、確実に本機を卓上ホルダーに取り付けてください。
充電できない	ACアダプタのmicroUSBプラグが、卓上ホルダー／本機にしっかりと差し込まれていますか。	もう一度、確実に差し込んでください。
	ACアダプタのプラグが、家庭用ACコンセントにしっかりと差し込まれていますか。	もう一度、確実に差し込んでください。
	電池パックが本機に取り付けられていますか。	正しく取り付けてください。
	本機、電池パックの充電端子やACアダプタのmicroUSBプラグ、本機の外部接続端子が汚れていませんか。	端子部を乾いたきれいな綿棒などで清掃してから、充電し直してください。

症状	確認すること	処置
充電できない	指定されたACアダプタなどを使っていますか。	指定品を使用してください。指定品以外のものを利用すると、充電できないだけでなく、電池パックを劣化させる原因となります。
充電が止まる／充電が始まらない	本機の温度が高くなっていませんか。	本機の温度が高くなると、自動的に充電が停止します。本機の温度が下がると、充電を再開します。
電池パックの消耗が早い	音を出す機能／操作などを頻繁に利用したりしていませんか。	本機を頻繁に開閉したり、テレビやカメラを頻繁に利用したりすると、電池パックの使用可能時間は短くなります。
	電波の弱い場所に長時間いませんか。	電波の弱い状態で通話しているときや圏外にいるときは、電池を多く消耗します。
	画面の照明設定を明るくしたり、点灯時間を長く設定したりしていませんか。	照明を暗くしたり、点灯時間を短くしたりすると、電池パックの消耗を軽減できます。

防水／防塵性能について

本機の防水／防塵性能

本機は、電池カバーを取り付けた状態で、IPX5^{*1}、IPX7^{*2}相当の防水性能およびIP5X^{*3}相当の防塵性能を有しています。

- ※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。
 - ※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mのところに電話機を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。
 - ※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。
- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。

- 本機は、IPX5／IPX7の防水およびIP5Xの防塵性能を有していますが、ホコリ、砂、泥、金属粉、食べこぼし、清涼飲料水、海水などが入った場合には、故障の原因となることがあります。

本機のお取り扱いについて

- 電池カバーは確実に取り付けてください。パッキンとの接触面に細かいゴミ（髪の毛1本、砂粒1個、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が入る原因となります。
- 電池カバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外してください。
- 本機が濡れているときは、乾いたきれいな布で拭き取ってください。
- 手や本機が濡れているときに、電池カバーの開閉は絶対にしないでください。
- 外部接続端子は、濡れていたり、砂やほこりが付着した状態でご使用にならないでください。防水／防塵性能が損なわれたり、感電や回路のショートなどによる、故障・やけど・火災の原因となります。
- 常温(5℃～35℃)の真水・水道水にのみ対応しています。

使用時のご注意

- 本機に次のような液体をかけたり、つけたりしないでください。
 - 石けん、洗剤、入浴剤を含んだ水
 - 海水、プールの水
 - 温泉、熱湯 など
- 海水やプールの水、清涼飲料水などがかかったり、ホコリ、砂、泥などが付着した場合には、すぐに常温(5℃～35℃)の真水・水道水で洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、故障の原因となります。
- 砂や泥などがきれいに洗い流せていない状態で使用すると、本体に傷がついたり、破損するなど故障の原因となります。
- 湯船やプールなどにつけないでください。また、水中で使用しないでください(開閉、ボタン操作を含む)。
- 本機は耐水圧設計ではありません。水道やシャワーなどで強い流水(6リットル/分を超える)を当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- 風呂場など湿気の多い場所には、長時間放置しないでください。また、風呂場で長時間使用しないでください。
- サウナでは使用しないでください。また、ドライヤーなどの温風はあてないでください。

- 本機は温度：5℃～35℃、湿度：35%～90%の範囲でご使用ください。
- コンロの脇や冷蔵庫の中など極端に高温・低温になるところに置かないでください。
- 送話口、受話口、スピーカーの穴に水が入ったときは、一時的に音量が小さくなる場合があります。十分に水抜きと乾燥を行ったうえでご使用ください。
- 電池パック・充電器・オプション品は、防水/防塵に対応していません。屋外や風呂場、洗面所など湿気の多い場所や水のかかる可能性のある場所では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。また、使用しないときでも、風呂場などに持ち込まないでください。
- 落下させるなど、本機に強い衝撃を与えたり、送話口、受話口、スピーカー、空気抜き穴などをとがったものでつつかないでください。防水/防塵性能が損なわれる場合があります。
- 砂浜、砂場などの砂の上に直接置かないでください。受話口、スピーカーなどに砂が入り、音が小さくなる恐れがあります。
- ヒンジ部に砂などが入ると、開閉の感触が悪くなったり、異音が生じる恐れがあります。

次ページに続きます

- ボタン部分（タッチエリア）に水滴が付いている状態や濡れた指でタッチクルーザーEXを使用した場合、正しく動作しないことがあります。
- 結露防止のため、寒い場所から風呂場などへは本機が常温になってから持ち込んでください。万一、結露が発生したときは、取れるまで常温で放置してください。
- 本機は水に浮きません。
- 強い雨の中では使用しないでください。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
- 電池カバーに劣化、破損があるときは、防水／防塵性能を維持できません。これらのときは、「ソフトバンクショップ」までご連絡ください。

充電時のご注意

- 本機または充電器が濡れている状態では、microUSBプラグを絶対に接続しないでください。
本機は防水機能を有しておりますが、濡れた状態でmicroUSBプラグを挿入すると、本機やmicroUSBプラグに付着した液体（水道水、清涼飲料水、海水、ペットの尿など）や異物などにより、感電や回路のショートなどによる異常発熱・焼損・火災・故障・やけどなどの原因となります。

- 濡れた手で充電器に触れないでください。感電の原因となります。
- 充電器は、水周りで使用しないでください。火災・感電の原因となります。

防水／防塵性能を維持するために

- 電池パック周囲（電池カバー側）のゴムパッキンは、防水／防塵性能を維持するための重要な役割を担っています。次のことにご注意ください。
 - はがしたり、傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
 - 電池カバーのすき間に、先のとがったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、水や粉塵が入る原因となることがあります。
 - 電池パック周囲（電池カバー側）のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりしたときは、「ソフトバンクショップ」にご相談のうえ、ゴムパッキンを交換してください。
- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず、2年に1回、部品を交換することをおすすめします。
お客様ご依頼による部品の交換は、本機をお預かりして有料にて承ります。「お問い合わせ先」（P.256ページ）または「ソフトバンクショップ」へご相談ください。

本機のお手入れについて

本機の洗いかた

本機に汚れ、ホコリ、砂、清涼飲料水などが付着したときは、汚れを軽く布で除去し、やや弱めの水流 [6リットル/分以下、常温 (5℃~35℃) の水道水] で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。電池カバーを取り付けた状態で、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください。よく乾燥したあと、電源を入れてください。

- 電池カバーが、きちんと閉まっていることを確認してから洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 外部接続端子は、特にホコリや砂などの汚れが付着しやすい部位です。汚れを残さないようしっかりと洗い流してください。また、水洗い後は十分に乾燥したことを確認したうえでご使用ください。砂や水滴が端子部に残ったままの状態でご使用になりますと、故障・やけど・火災の原因となります。
- 外部接続端子を洗うときは、綿棒などの道具を使用したり、布を端子内部に押し込んだりしないでください。防水性能が損なわれるなど、故障の原因となります。

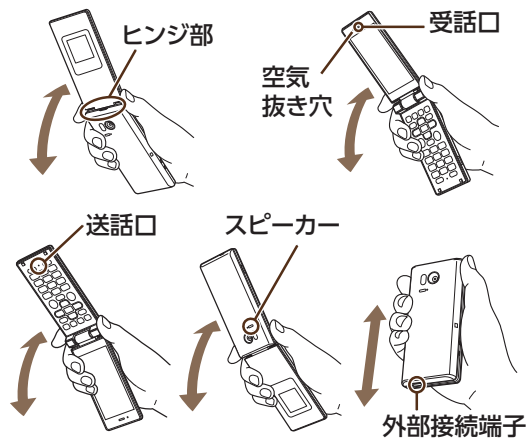
- 乾燥のために電子レンジには絶対入れないでください。電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。また、本機を発熱・発煙・発火させたり回路部品を破壊させる原因となります。
- 乾燥のためにドライヤーの温風をあてたり、高温環境に放置しないでください。本機の変形、変色、故障などの原因となります。

次ページに続きます

水抜きのかた

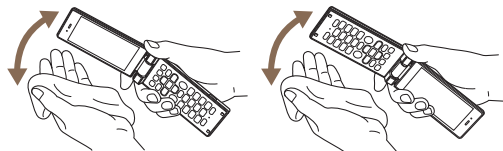
水に濡れたあとは、必ず「ヒンジ部」、「空気抜き穴」、「受話口」、「送話口」、「スピーカー」、「外部接続端子」の水抜きを行ってください。

- 1 本機表面の水分を乾いた布などで拭く
- 2 本機のヒンジ部をしっかりと持ち、20回程度振る



- 本機を振るときは、落とさないようにしっかりと握ってください。

- 3 各部の穴やすきまに入った水分を、乾いた布などに押し当てて拭き取る



- 各部の穴に水がたまっていることがありますので、開口部に布を当て、軽くたたいて水を出してください。

- 4 乾いた布などを下に敷き、2~3時間程度常温で放置する

水を拭き取る際のご注意

- 各部の穴の水を抜く際は、布や綿棒などを内部に押し込んだりしないでください。防水/防塵性能が損なわれることがあります。

水抜き後のご注意




- 水滴が付着したままで使用しないでください。
 - 通話不良となったり、衣服やカバンなどを濡らしてしまうことがあります。
 - 外部接続端子がショートする恐れがあります。
 - 寒冷地では凍結し、故障の原因となることがあります。

安全上のご注意







ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

禁止強制的絵表示の説明

 禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。
 分解禁止	分解してはいけないことを示します。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
 指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

次ページに続きます

本機、電池パック、USIMカード、卓上ホルダー、充電器（オプション品）、SDカード（オプション品）の取り扱いについて（共通）



危険

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。



禁止

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。



禁止

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。



禁止

火災、やけど、けが、感電などの原因となります（防水／防塵性能：☞214ページ）。

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



分解禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。



水濡れ禁止

火災、やけど、けが、感電などの原因となります（防水性能：☞214ページ）。

充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります（防水性能：☞214ページ）。



水濡れ禁止

水などで濡れた状態では、充電しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります（防水性能：☞214ページ）。



水濡れ禁止

使用するオプション品は、ソフトバンクが指定したものの以外を使用しないでください。



指示

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



警告

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。



禁止

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。



禁止

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



禁止

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本機の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。

- プラグをコンセントから抜く。
- 本機の電源を切る。
- 電池パックを本機から取り外す。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

注意

破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレータ設定中は特にご注意ください。

落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります (防水/防塵性能: [P.214](#)ページ)。



禁止

使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります (使用材料: [P.208](#)ページ)。



指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

けがなどの原因となります。



指示

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。

誤って飲み込んだり、けが、感電などの原因となります。



指示

次ページに続きます

本機を長時間連続使用される場合や充電中にご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにご注意ください。



指示

通話、データ通信、テレビや動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本機や電池パック・充電器の温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

本機の取り扱いについて



危険

ディスプレイ内部の物質などが目や口の中に入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。



指示

ディスプレイ内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。



警告

赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。



禁止

目に悪影響を及ぼすなどの原因となります。

赤外線通信利用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。



禁止

赤外線装置の誤動作により、事故などの原因となります。

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本機内のUSIMカードやSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。



禁止

また、USIMカードやSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。



指示

レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

航空機へのご搭乗にあたり、本機の電源を切るか、機内モードに設定してください。



指示

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。



指示

使用を禁止されている場所では、本機の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

スピーカーホンに設定して通話するときや、着信音が鳴っているとき、待受中などは、必ず本機を耳から離してください。



指示

また、イヤホンマイクなどを本機に装着し、動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると難聴などの原因となります。

また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。



指示

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。



指示

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

次ページに続きます

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。



指示

※ご注意ください電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本機の内部にご注意ください。



指示

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

ブザーを鳴らす場合は、耳元で鳴らさないでください。難聴などの原因となります。



指示

 注意

ストラップなどを持って本機を振り回さないでください。本人や他の人、周囲の物に当たり、けがなどの事故の原因となります。



禁止

誤ってディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合には、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。



禁止

失明や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

電池カバーを取り外す際は、必要以上に力を入れないでください。



禁止

電池カバーが破損し、けがなどの原因となります。

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。



指示

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

本機を開閉する際は、指などの体の一部を挟まないようご注意ください。
けがなどの原因となります。



指示

本機の◆◆部に磁気が発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。
付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。



指示

電池パックの取り扱いについて



危険

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

金属片(ネックレスやヘアピンなど)や導電性異物などと接続端子が触れないようにしてください。また、それらのものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。



禁止

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

電池パックを本機に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめてください。
また、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けしないでください。



禁止

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。



禁止

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

次ページに続きます

釘(鋭利なもの)を刺したり、ハンマー(硬いもの)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。



禁止

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

電池パック内部の物質などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。



指示

電池パック内部の物質などの影響により、失明などの原因となります。



警告

異臭、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は、使用しないでください。



禁止

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。



指示

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。

ペットなどが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。



指示

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火による火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからソフトバンクショップにお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。



禁止

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

電池パック内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。



指示

失明や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

卓上ホルダー、充電器(オプション品)の取り扱いについて



警告

充電器のコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

充電器は、風呂場などの湿気が多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、充電器には触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止

卓上ホルダーを自動車内で使用しないでください。
過大な温度と振動により、火災・故障の原因となります。



禁止

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

充電器のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。



禁止

火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタに海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。

発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本機に充電器を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

濡れた手で充電器やコード、端子に触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

指定の電源、電圧で使用してください。

また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。

●ACアダプタ：AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

●海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)



指示

次ページに続きます

プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

充電器をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。



指示

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

プラグをコンセントから抜く場合は、充電器のコードを引っ張るなど無理な力を加えず、充電器を持って抜いてください。



指示

充電器のコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。

本機にmicroUSBプラグを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。



指示

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。



指示

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因になります。

使用しない場合は、充電器のプラグをコンセントから抜いてください。



プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が入った場合は、直ちにコンセントからプラグを抜いてください。



電源プラグを抜く

火災、やけど、感電などの原因となります。

お手入れの際は、プラグをコンセントから抜いて行ってください。



抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く

注意

通電中は卓上ホルダーの充電端子に長時間触れないでください。



禁止

低温やけどになる恐れがあります。

コンセントにつないだ状態で充電器に長時間触れないでください。



禁止

やけどなどの原因となります。

USIMカードの取り扱いについて



注意

USIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
けがなどの原因となります。



指示

医用電気機器近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針」(電波環境協議会 [平成26年8月])および「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」(総務省)の内容を参考にしたものです。



警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本機を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づく恐れがある場合には、事前に本機を電波の出ない状態に切り替えてください(例：機内モード)。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本機の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

次ページに続きます

お願いとご注意

ご利用にあたって

- USIMカードや、USIMカード装着済みの本機を盗難・紛失された場合は、必ずお問い合わせ先(☎256ページ)までご連絡のうえ、緊急利用停止の手続きを行ってください。
- 本機は、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご利用いただくときは、周囲の人たちの迷惑にならないようご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- USB充電利用時は、家庭用ACコンセントで充電したときよりも充電時間が長くなります。接続環境やパソコンの状態によっては、充電できなかつたり、充電に時間がかかったりすることがあります。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで本機を使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- SDカードをご利用になるときは、あらかじめSDカードの取扱説明書をよくお読みになり、安全に正しくご使用ください。

- 傍受(ぼうじゅ)にご注意ください。

本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。

- 傍受とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。
- インターネットのサイトには、悪質なものや有害なものがあります。特に、個人情報の書き込みなどは慎重に行いましょう。
- 本機の画面には液晶を使用しています。そのため、偏光特性を持ったサングラスをかけて画面を見ると、サングラスの特性や見る角度によっては暗くなったり歪んで見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがあります。旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。米国輸出規制により本機をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。

■ 高温時のご注意

- 操作方法或使用環境によっては、本機の内部温度が高くなり、熱くなることがあります。その際には安全のため、充電が停止したりする場合があります。
- また、内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示されたあと、約3分後に電源が切れますのでご注意ください。この場合には、本機の内部温度を下げるため、すべての機能を終了してから、画面を消灯してください。
- カメラ使用時は、内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示され、撮影データが保存されて自動終了します。

■ カメラについて

- カメラ機能は、一般的なモラルを守ってご使用ください。
- 大切なシーンを撮影されるときは、必ず試し撮りを行い、画像を表示して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。
- カメラ機能を利用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合などを除き、著作権者（撮影者）などの許可を得ることなく使用したり、転送することはできません。

■ マナーモードについて

- マナーモードを設定していても、カメラ撮影時のシャッター音、ビデオカメラ撮影時の撮影開始／終了音、音楽・動画・ゲームの音などは鳴ります。

■ テレビについて

- 本機は、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、テレビ視聴が困難になることがあります。また、テレビ視聴中に電波状態の悪い場所へ移動すると、映像が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様のご利用環境によって電波の受信状態が異なるため、一部地域では視聴できない場合があります。受信状態の良い環境でご利用ください。

■ 本体メモリについてのご注意

- お買い上げ時、本機で撮影した静止画や動画などのデータは、本体メモリに保存されるように設定されています。

■ 通話中／通信中のご注意

- 通話中や通信中は、同時に他の機能を使用している間や各種操作を行っている間も通話料、通信料がかかりますので、ご注意ください。
- JavaScript通信は、通信料が高額になる可能性があります。

次ページに続きます

■ 緊急速報メールについて

- お買い上げ時、受信設定は「有効」に設定されています。
- 受信時には、マナーモードであっても警告音が鳴動します。
- 通話中、通信中および電波状態が悪い場合は受信できません。
- お客様のご利用環境・状況によっては、お客様の現在地と異なるエリアに関する情報が受信される場合、または受信できない場合があります。
- 受信設定を「有効」にしている場合は、待受時間が短くなることがあります。
- 当社は情報の内容、受信タイミング、情報を受信または受信できなかったことに起因した事故を含め、本サービスに関連して発生した損害については、一切責任を負いません。

■ 技術基準適合証明について

本機は、電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合しています。次の操作で、技術基準適合証明に関する情報(㊿等)を確認できます。

OK → (写真) (6回押す) → 「設定」 → OK → (便利) → 「その他」 → OK → (写真) (6回押す) → 「端末情報」 → OK → (写真) (5回押す) → 「技術基準適合証明」 → OK

■ SSL/TLSについて

本機には、あらかじめ認証機関から発行された電子的な証明書が登録されており、SSL/TLS(インターネット上でデータを暗号化して送受信する通信方法)を利用できます。

- セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合は、お客様は自己の判断と責任においてSSL/TLSを利用するものとします。お客様ご自身によるSSL/TLSの利用に際し、ソフトバンクおよび認証会社である合同会社シマンテック・ウェブサイトセキュリティ、サイバートラスト株式会社は、お客様に対しSSL/TLSの安全性に関し何ら保証を行うものではありません。

お取り扱いについて

- 本機の電池パックを長い間外していたり、電池残量の少ない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機は温度：5℃～35℃、湿度：35%～90%の範囲でご使用ください。
- 極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
- 使用中や充電中は本機や電池パックが温かくなることがありますが、異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。
- カメラ部分に、直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して、画像が変色することがあります。
- 端子が汚れていると接触が悪くなり、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
- 卓上ホルダーの充電端子を清掃するときは、変形させたり、指で触れたりしないようにご注意ください。

- お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 本機のディスプレイを堅い物でこすったり、傷つけないようご注意ください。
- 無理な力がかからないようにお取り扱いください。故障やけがの原因となります。
 - ズボンやスカートのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり椅子などに座らないでください。特に厚い生地の衣服のときはご注意ください。
 - カバンなどに入れるときは、重たい物の下にならないように十分ご注意ください。
- 外部接続端子に指定品以外のものは、取り付けしないでください。誤動作したり、破損することがあります。
- SDカードの使用中は本機の電源を切らないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げないでください。事故の原因となります。
- 本機を手を持って使用するときは、受話口や送話口、スピーカーをふさがないようにご注意ください。

次ページに続きます

■ 電池カバーについて

- 電池カバーが正しく取り付けられていないと、防水/防塵性能が保証できません。
- 電池カバーに無理な力を加えると、破損の原因となります。
- 電池カバーが破損したときは、電池カバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池パックの腐食など、故障の原因となります。

■ 電池パックについて

- 電池パックを取り外すときは、必ず電源を切ってから取り外してください。
データの登録やメールの送信等の動作中に電池パックを取り外さないでください。データの消失・変化・破損などの恐れがあります。
- 次の操作で、電池の消費を軽減できます。

OK → **写真** (6回押す) → **設定** → **OK** → **便利** → **その他** → **OK** → **写真** (5回押す) → **省エネと電池** → **OK** → **省エネモード設定** → **OK** → **省エネモード** → **OK** () 表示

- 電池パックの性能や寿命を低下させる原因となりますので、次の状態では保管しないでください。
 - (充電完了後すぐの) フル充電状態
 - (本機の電源が入らないほど) 電池残量がない状態
- 目安として、電池残量が40%程度での保管をおすすめします。

- 電池パックの使用条件によって、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れることがありますが、安全上問題はありません。
- 電池パックは消耗品です。十分に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。
- 電池パックや本機の充電端子が汚れたら、乾いたきれいな綿棒などで清掃してください。そのままにしておく、充電ができなくなるなど接触不良の原因となります。
- 電池パックは、防水/防塵対応していません。

■ リチウムイオン電池について

- 本機は、リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。
- お知らせランプが点滅しているときは充電ができていません。指定品の充電器を使用して充電してください。それでも充電ができない場合は、「お問い合わせ先」(P.256ページ)または「ソフトバンクショップ」へご相談ください。
- 海外での充電に起因するトラブルについては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



■ タッチクルーザーEXについて

本機のボタン部分(タッチエリア)を指で触れることでタッチパッドのように操作できます。

- 次の場合はタッチエリアに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - シールなどを貼っての操作
 - 水滴が付着または結露している状態での操作
 - 濡れた指または汗で湿った指での操作

■ イヤホンマイクについて

市販品のイヤホンマイクを使用すると、正常に動作しない場合があります。指定品のmicroUSB-φ3.5変換アダプタ[SHDDU1](オプション品)を利用して、マイク付ステレオイヤホン[SHLDL1](オプション品)をお使いください。

- イヤホンマイク使用時、外部接続端子に強い負荷をあたえると防水/防塵性能が損なわれることがありますのでご注意ください。

■ セルフチェックについて

動作が不安定になったときは、次の操作で原因の自己診断をすることができます。

OK → (写真) (6回押す) → 「設定」 → OK → (便利) → 「その他」 → OK → 「セルフチェック」 → OK → 画面に従って操作

■ オールリセットについて

オールリセットすると、本体メモリのデータがすべて消去されます。必要なデータは事前にバックアップをとることをおすすめします。

消去された内容は、元に戻せませんので、十分にご確認のうえ操作してください。

OK → (写真) (6回押す) → 「設定」 → OK → (便利) (4回押す) → 「データ引継・リセット」 → OK → (写真) → 「オールリセット」 → OK → 操作暗証番号を入力 → OK → (写真) を数回押して「携帯端末をリセット」を選択 → OK → (写真) を数回押して「すべて消去」を選択 → OK

- 「microSD内データも消去する」にチェックを入れてオールリセットを実行すると、SDカードに保存されたデータもすべて消去されます。

知的財産権について

肖像権について

- 他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮って公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。






著作権について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。この目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作権者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なお使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なお使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

本機に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アSEMBル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等を行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本機には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。次の操作で、当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細を確認できます。

OK →  (6回押す) → 「設定」 → OK →  → 「その他」 → OK →  (6回押す) → 「端末情報」 → OK →  (4回押す) → 「法的情報」 → OK →  → 「オープンソースライセンス」 → OK

- GPL、LGPL、Mozilla Public License (MPL) に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。

詳細は下記サイトをご参照ください。

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/>

商標／登録商標について

動画の撮影／再生の技術には「MPEG-4」が使われています。This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and noncommercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use.

Additional information may be obtained from MPEG LA.

See <http://www.mpegla.com>.

This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC.

See <http://www.mpegla.com> for additional details.

本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) AVC規格準拠のビデオ (以下「AVCビデオ」と記載します) を符号化するライセンス、および／または (ii) AVCビデオ (個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります) を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。<http://www.mpegla.com> をご参照ください。

本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) VC-1規格準拠のビデオ (以下「VC-1ビデオ」と記載します) を符号化するライセンス、および／または (ii) VC-1ビデオ (個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります) を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。

<http://www.mpegla.com> をご参照ください。

次ページに続きます

前ページからの続きです

Microsoft[®]、Excel[®]、PowerPoint[®]は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft[®] Excel[®]、Microsoft[®] Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。

OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



microSD、microSDHCロゴはSD-3C、LLCの商標です。

この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント/LCFONTおよびLC[®]は、シャープ株式会社の登録商標です。

Google、Google ロゴ、Android[™]、Android ロゴは、Google Inc. の商標です。

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

Portions Copyright © 2004 Intel Corporation

この製品には Intel Corporation のソフトウェアを一部利用しております。

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2016 All Rights Reserved.

iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2015 All Rights Reserved.

「楽ともリンク」、「楽ボタン」、「楽ボタンメニュー」、「読んだよメール」、「元気だよメール」、「エスショイン/S-Shoin」、「タッチフルーザー-EX」、「パールビュー/VeilView」は、シャープ株式会社の商標または登録商標です。

- 「明鏡国語辞典MX第二版」©KITAHARA Yasuo and Taishukan, 2012
- 「ジーニアス英和辞典MX増補版」©MINAMIDE Kosei, NAKAMURA Mitsuo and Taishukan, 2012
- 「ジーニアス和英辞典MX第2版」©MINAMIDE Kosei, NAKAMURA Mitsuo and Taishukan, 2012

Internet SagiWallは、BBソフトサービス株式会社の商標または登録商標です。

「LINE」は、LINE株式会社の商標または登録商標です。

Powered by emblend Copyright 2009-2010 Aplix Corporation. All rights reserved.

emblendは、日本における株式会社アプリックスの製品名です。

「あんしんバックアップ」は、株式会社ACCESSの技術提供を受けております。

©2011 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

Copyright © 2009 The Android Open Source Project Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");

you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

ACCESS、ACCESSロゴは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。

ACCESS™

次ページに続きます

前ページからの続きです

「Yahoo!」および「Yahoo!」、 「Y!」のロゴマークは、米国 Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

ハローページはNTTの登録商標です。

S!メールはソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。

SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。

その他の記載している会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

本製品の比吸収率(SAR)について

本項目における【505SH】とは、本機【かんたん携帯9】を示しています。

この機種【505SH】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。

電波の人体吸収に関する国の技術基準^{*1}は、人体の近くで使用される携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)について、2W/kgの許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分に安全な値として設定されており、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインにおける値と同じ値です。

本携帯電話機【505SH】の頭部におけるSARの最大値は0.575W/kgであり、また右記の方法^{*2}により身体に装着した場合のSARの最大値は0.614W/kgです。これらは、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満たしています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。

頭部以外の位置におけるご使用方法^{*2}

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリアリングケース等のアクセサリをご使用になるなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにすることで、この携帯電話機は電波の人体吸収に関する国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合します。

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)に規定されています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

また、SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

次ページに続きます

電波ばく露の影響に関する情報として、欧州における基準および米国連邦通信委員会（FCC）の基準を掲載しています。詳細は「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」、「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

本携帯電話機【505SH】は、国際的ガイドラインが定める電波の許容値を超えないことが確認されています。このガイドラインは、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯電話機におけるSARの許容値は2W/kgで、本携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.575W/kg、本書に記述する所定の方法（[241ページ](#) ※2）で使用した場合のSARの最大値は0.661W/kgです。

「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。

測定試験は機種ごとにFCCが定めた位置で実施され、本携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.20W/kg、下記のとおりに従って身体に装着した場合のSARの最大値は0.22W/kgです。

身体装着の場合：この携帯電話機【505SH】では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定できる装身具を使用し、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの定めるSAR許容値を満たさない場合もあるので使用を避けてください。

比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のホームページを参照してください。

FCC Radio Frequency Safety（英文のみ）

<http://transition.fcc.gov/oet/rfsafety/>

世界保健機関は、携帯機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関 (英文のみ)

<http://www.who.int/emf>

SoftBank スマートフォン 各機種種の電波比吸収率 (SAR) 一覧はこちら

<http://www.softbank.jp/mobile/support/sar/>

Radio Wave Exposure and Specific Absorption Rate (SAR) Information

【505SH】 here refers to this mobile phone 【かんとん携帯9】.

■ Specific Absorption Rate (SAR) for This Product (for Japan)

This mobile phone 【505SH】 meets the Japanese technical regulations* and international guidelines for exposure to radio waves.

The Japanese technical regulations for exposure to radio frequency energy established permitted levels of radio frequency energy, based on standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The regulation employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue.

The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

次ページに続きます

The value of the limit is equal to the value given in international guidelines recommended by ICNIRP** , which is in collaboration with the World Health Organization (WHO).

The highest SAR value for this mobile phone is 0.575 W/kg when tested for use at the ear, and 0.614 W/kg when worn on the body in the below manner***. While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, all phones meet the Japanese technical regulations. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the phone during operation can be well below the maximum value.

Use at positions other than at the ear***

This mobile phone may be used at positions other than at the ear. By using an accessory such as a belt clip holster that maintains a 1.5 cm separation with no metal (parts) between the body and the mobile phone, this mobile phone will comply with international guidelines for radio wave protection.

* The technical regulation is provided in Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.

** International Commission on Non-Ionizing

Radiation Protection

The World Health Organization has announced that “A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use.”

For more information about SAR, see the following websites:

Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)

<http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/body/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)

<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>
(Japanese)

This mobile phone [505SH] is confirmed to comply with guidelines relating to effects of radio wave exposure as set forth by the Council of Europe (CE) and the Federal Communications Commission (FCC). Refer to the following.

■ European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health. The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2.0 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.575 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this User Guide (See Page 244 ***). In this case, the highest tested SAR value is 0.661 W/kg*.

* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

■ FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.

The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.20 W/kg, and when worn on the body in a holder or carry case, is 0.22 W/kg.

次ページに続きます

Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://www.fcc.gov/oet/ea/> after searching on FCC ID APYHRO00230

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <http://transition.fcc.gov/oet/rfsafety/> .

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce

your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

World Health Organization

<http://www.who.int/emf>

List of Specific Absorption Rates (SAR) for radio waves by smartphone/3G model

<http://www.softbank.jp/mobile/support/sar/> (Japanese)

General Notes

"505SH" here refers to this mobile phone "かんたん携帯9."

Handset

Do not disassemble or modify handset.

CE Declaration of Conformity

CE 0168

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that 505SH is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC. A copy of the original declaration of conformity for each model can be found at the following internet address: <http://www.sharp.co.jp/k-tail>

Battery Cautions

Use specified Battery or Charger only.

Non-specified equipment use may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

Do not dispose of an exhausted Battery with ordinary refuse; always tape over Battery terminals before disposal. Take Battery to a SoftBank Shop, or follow the local disposal regulations.

Charge Battery in ambient temperature 5°C - 35°C; Battery may leak/overheat and performance may deteriorate outside this range.

Volume Level Caution



To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

Headphone Signal Level

The maximum output voltage for Music Player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 130 mV.

Stand-by Mark

☺: This symbol means the stand-by on/off.

(Continued)

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules.

These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television

reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

SoftBank Customer Support

General Information

From a SoftBank handset, dial toll free at 157.

索引

用語別

英数字

2～6章の構成について	59
2章以降の操作ページの見かた	60
HD Voice	63
LINE	135、136
SMS	91
SSL/TLSについて	232
S!メール	91
VoLTE	63

あ行

アプリ起動制限	176
暗証番号	182
あんしんバックアップ	176
安全上のご注意	219
インターネットの保護	176
オートフォーカス	117
大文字⇄小文字の切り替え	41
オールリセット	235

お知らせランプ	13、20
お手入れについて	217
お問い合わせ先一覧	256
お願いとご注意	230
おもな仕様	206

か行

海外でのメール利用	114
開始ボタン	21
外部接続端子	198
かかってきた電話を拒否する	88
拡大する	11
拡大ボタン	21
各部の名前とはたらき	20
画像編集	132
カナ英数字変換	41
壁紙	128
カメラ	20
画面	12
画面のしくみ	23

次ページに続きます

画面のロック	176	災害用伝言板	176
カレンダー	135、145	サイドボタン	20、21
簡易留守録	88	撮影(シャッター)音	133
魚眼レンズ撮影	132	シークレット設定	176
緊急地震速報	159	辞書	49
緊急速報メール	159	辞書ボタン	21
緊急通報	63	自分の電話番号を確認する	25
緊急ブザー	159、160	写真を撮る	118
緊急ブザーを止める	160	写真を見る	123
緊急ブザーを鳴らす	160	写真をメールで送る	91、99
くっきりトーク	67	充電端子	20
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	241	受信メールを見る	106
ケータイをお使いになる前に	17	受話口	9、21
元気だよメール	159、168	使用材料	208
交換機用暗証番号	182	数字入力	45
国際電話を利用する	88	ストップウォッチを使う	156
故障かな？と思ったら	210	スピーカー	20
このケータイの特長	4	スライドショー	125
		世界対応ケータイ	63、114
		世界時計を利用する	156
		赤外線で送受信する	156

さ行

赤外線ポート	20
セルフタイマー	132
操作方法を確認する	156
操作暗証番号	179
操作暗証番号を登録する	179
送信メールを見る	106
送信予約	114
送話口	9、21
ソフトウェアを更新する	189

た行

タイマーを使う	156
ダイヤルボタン	10
卓上ホルダー	207、209
タッチクルーザーEX	14、47
知的財産権について	236
着信音を変える	84
着信履歴を見る	70
着信を振動でお知らせする	88
著作権について	236
定型文／素材の利用	114

テレビを見る	51
電源／終了ボタン	21
電源を入れる	22
電源を切る	22
電卓	135、153
電池カバー	193
電池残量(電池レベル)	12
電池残量(電池レベル)表示	24
電池パック	207、209
電池パックを充電する	196
電池パックを取り付ける	193
電池パックを取り外す	194
電波状態	12
電波状態表示	24
電話帳に登録する	72、108
電話帳に登録できるおもな項目	76
電話帳を編集する	80
電話帳を見る	77
電話の発信を制限する	88
電話の履歴	70

次ページに続きます

電話を受ける	66
電話をかける	64
取扱説明書のダウンロード	1

は行

バーコード読み取り	132
背面画面	13、20
発信履歴を見る	70
パノラマ撮影	132
ビデオを撮る	120
ビデオを見る	123
複数の写真を連続で表示する	125
ブザーボタン	21
付属品	1、207、209
ブラウザボタン	21
文章のみ送る	92
防水／防塵性能について	214
防水／防塵性能を維持するために	216
保証とアフターサービス	255
歩数計	135、138
ボタンのはたらき(文字入力)	40、203

ボタンの文字割り当て	203
本機の洗いかた	217
本機のお手入れについて	217
本書の見かた	2

ま行

マイ絵文字	46
待受画面	22
待受画面の見かた	23
マナーモード	58
水抜きのみかた	218
迷惑メール対策	115
メインメニュー	30、201
メールアドレス	91
メールの返事を送る	112
メール振り分け	114
メールを送る	92
メールを見る	104
目覚まし時計	135、139
メニュー一覧	200
メニュー操作	27

メモ帳を使う	156
文字種変更	40、44
文字入力のしかた	40
文字入力用ボタン一覧	203
戻るボタン	21

や行

優先度	114
読んだよメール	159、165

ら行

楽ともボタン	21、32
楽ともボタンでメールを送る	96
楽ボタン	21
楽ボタンメニュー	27、200
履歴画面の見かた	71
留守番電話サービス	88
連写撮影	132

機能別こんなときは

カメラ

カメラが勝手に終了する	133
カメラが起動できない	133
カメラ利用時の注意点は?	133
撮影(シャッター)音を消したい	133

カレンダー

毎日同じ時刻の予定を登録したい	157
-----------------	-----

緊急ブザー

緊急ブザーが鳴らない	177
緊急ブザーが鳴らないようにしたい	162

元気だよメール

送られた「読んだよメール」や 「元気だよメール」を見たい	177
「元気だよメール」が遅れて送信される	177

次ページに続きます

電卓

電卓は何桁まで計算できる? 157

電話

相手の声が聞きとりにくい.....67

相手の声が小さくて聞こえにくい.....67

着信音が鳴らない.....89

着信中に「非通知設定」と表示される.....89

通話中に「プチッ」と音が入る.....89

電話がかかけられない.....89

歩数計

歩数が正しく計測できない..... 157

メール

圏外や電源を切っていたときに

メールが送られてきたら? 115

迷惑メール対策はある? 115

メールが受信できない..... 115

読んだよメール

送られた「読んだよメール」や

「元気だよメール」を見たい..... 177

「読んだよメール」が送られていない..... 177

保証とアフターサービス

■ 保証について

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書がついております。

■ お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。

- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。
- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ（電話帳／音楽／静止画／動画など）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

■ アフターサービスについて

修理を依頼される場合、お問い合わせ先（☎ 256ページ）または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。

その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。
- 本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、生産打ち切り後4年です。

アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのソフトバンクショップまたはお問い合わせ先（☎ 256ページ）までご連絡ください。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

■ ソフトバンクカスタマーサポート

総合案内	紛失・故障受付
ソフトバンク携帯電話から 157 (無料) 一般電話から ☎ 0800-919-0157 (無料)	ソフトバンク携帯電話から 113 (無料) 一般電話から ☎ 0800-919-0113 (無料)

IP電話などでフリーコールが繋がらない場合は、恐れ入りますが下記の番号へおかけください。

東日本地域	022-380-4380 (有料)	東海地域	052-388-2002 (有料)
関西地域	06-7669-0180 (有料)	中国・四国・九州・沖縄地域	092-687-0010 (有料)

■ ソフトバンク国際コールセンター

海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡
+81-92-687-0025 (有料、ソフトバンク携帯電話からは無料)

かんたん携帯9 かんたんガイドブック

2016年1月 第1版

ソフトバンク株式会社

●
ご不明な点はお求めになられた
ソフトバンク携帯電話取扱店にご相談ください。

●
機種名：かんたん携帯9
製造元：シャープ株式会社

ご注意

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、お問い合わせ先（☎ 256ページ）までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

この印刷物は、再生紙を使用しています。

かんたん携帯9 かんたんガイドブック



XXXXXXXXXXXXXXXX
16A **. * XX XX***①